

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

作成日: 2020/8/5  
 事業所: 中区もえぎ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	改善策
		数が多かった方に「○」をつけて頂いております。				
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広い部屋を上手く活用できていない。	静と動や年齢等でスペースを区切って参ります。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		外出、プールなどの時、職員配置を多くする。	グループ分けを行った職員の配置が、過剰にならない様に都度確認し行って参ります。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			
業務改善	④ 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○		個別支援計画書を基とした支援の徹底を行って参ります。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの結果を業務改善につなげる。	職員会議での意見を実行出来る様に、業務分担を決め行って参ります。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	研修、勉強会を開催してほしい。	市で開催されている研修を回覧し、また独自に必要な勉強会を開催する様に検討して参ります。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		客観的に分析するためのスキルを各職員が学ぶ必要がある。	市で開催されている研修を回覧し、また独自に必要な勉強会を開催する様に検討して参ります。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールの作成	現在使用しているアセスメントシートの周知を徹底して参ります。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○					
⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○					
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○				
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○					
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			○	その日の支援の振り返りは難しい。申し送りノートを活用すべき。	出勤時必ず申し送りノートの確認を行う様に徹底して参ります。皆が気づいた事を記入し、共有出来る様に徹底して参ります。	
⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○				
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		常勤は日報を記録するだけでなく気づいた点などを職員を情報共有した方がいい。	申し送りノートに記入し、カンファレンス時に職員会議等で情報共有を行って参ります。	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		管理者が参加しているが子どもの状況を把握している人職員も同行すべき。	今後は2人以上で参加出来る様に調整して参ります。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校側との認識のズレがあり送迎時の行き違いやトラブルが発生する事がある。もっと密に情報交換をするべき。	担当者会議等を相談支援事業所を通して開催出来る仕組みを構築出来る事を目指して参ります。
	㉒ 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○			
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		連絡帳の改善・適切な活用。月報告の発行を提案します。	送迎時に保護者様には様子を伝えておりますが、保護者様から会報を増やしてほしいとご要望があり、職員で進め方を検討して参ります。

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングにはまず職員のスキルや質の向上が必要です。	研修・勉強会を検討して参ります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いについて少し認識が軽い場面がある。	職員間で今一度取り扱いについての話し合いの機会を作って参ります。
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	自傷、他害行動への対応を職員が学ぶ機会が必要。児童・保護者にも具体的に説明し了解してもらおうよう努力する	研修・勉強会を検討して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		習慣づける必要がある。	些細な事でも記入をしていく様に意識付けを徹底して参ります。	